

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

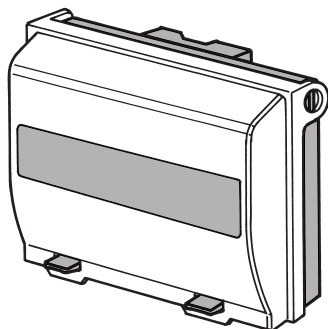
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



共同受信用広帯域ブースタ(耐雷性向上形)

下り70~770MHz増幅用 電源内蔵・分離共用形 屋内屋外共用

HW-806



製品の特長

- RF入出力部、電源入力部には高性能耐雷回路を使用、当社従来品と比較して極めて優れた耐雷性能を有していますので、雷多発地域での使用に最適です。
- 双方向CATV(上り10~55MHz、下り70~770MHz)伝送の補償として最適な、CATV下り帯域を増幅するCATV施設の端末に使用する屋内屋外共用の補償用ブースタです。
- 0~-10dBの連続可変の入力ATTボリューム、0、-5dB切換入力EQスイッチを内蔵しています。(下り帯域)
- 上り帯域パス回路の採用で双方向システムに使用でき、切換スイッチにより上り帯域信号をカットすることもできます。
- 耐候性に富んだ高品質樹脂ケースを採用し、内蔵シールドケースにより電波漏洩対策も万全です。
- 電源は着脱可能ですので、電源分離と電源内蔵を選択することができます。

安全上のご注意



△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。



警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要です。お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



●表示された電源電圧(AC100Vまたは、DC15V)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●この製品の増幅部と電源部を接続する同軸ケーブル(または防水ジャンパープラグ)には電源が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また、通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。



●この製品の増幅部と電源部を接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルの接続や接栓加工などで、心線と編組線が接触したり、同軸ケーブルに傷ついたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。



●このブースタに水が入ったり、ぬれたりしないようにカバーを正しく閉め、また、接続する同軸ケーブルの防水キャップを正しく取り付けてください。火災・感電の原因となります。



●万一、内部に水などが入った場合は、まずこの製品の電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●この製品を換気扇や湯沸器のそばなど高温になる場所、油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。燃えたり、変形したりして、火災や破損の原因となります。



●不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●この製品の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



●この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。



●この製品の本体を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または、直径1.6mm以上の軟銅線で接地してください。感電や故障の原因となります。



●雷が鳴り出したら、この製品には触れないでください。感電の原因となります。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



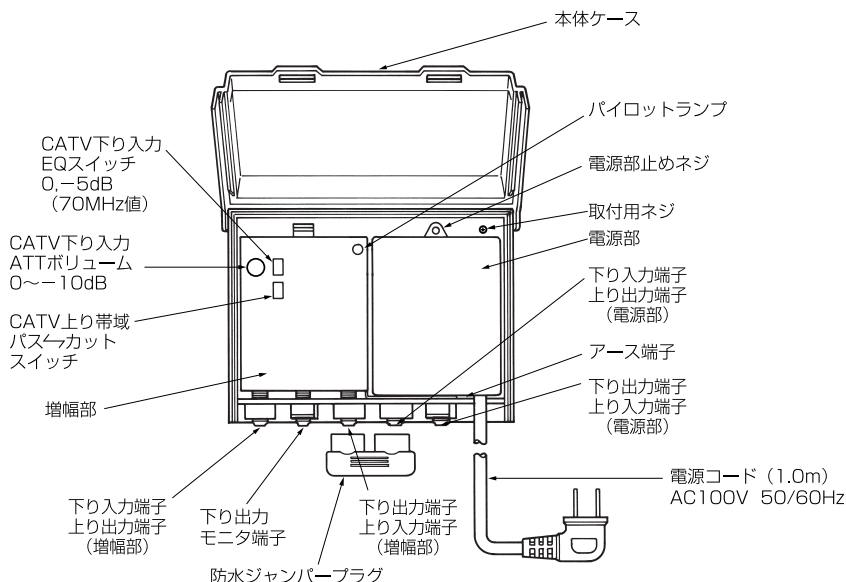
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- ブースタを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 電源供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。
- このブースタを出力端子からのDC15V重畳電源で使用する場合、ブースタと電源部を結ぶ同軸ケーブルに電流が流れています。途中に通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。また同軸ケーブルの先端加工は心線と編組線が接触しないよう注意して行なってください。火災や感電の原因となります。
- 使用時、異常が生じた場合は、ただちに電源の供給を止め、原因を確かめてください。
- 電源部は、電源分離で使用する場合には必ず屋内か防水・防雨ならびに放熱処理を施した収容箱などに収容してください。

各部の名称

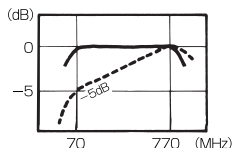


注) 電源部および各部配線には絶対に手をふれないでください。感電、火災の原因となることがあります。

付属品
・防水キャップ……………3個

CATV下りEQ (70MHz値)

- CATV下りEQ (70MHz値) スイッチを-5dB側にスライドさせると70MHz値を基準にして70MHz値の利得が-5dB減衰します。



※出荷時の設定は-5dBとなっています。

CATV上り帯域スイッチ

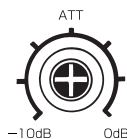
- 上り帯域スイッチをパス側にスライドさせると、上り帯域が通過します。
- 上り帯域を使用しない時は、上り帯域スイッチをカット側に切り換えてください。上り帯域が減衰します。



※出荷時の設定はカット側になっています。

CATV下り入力ATTボリュームの操作

- CATV下り入力ATTボリュームは反時計方向いっぱいに戻した時、減衰量最大となります。出力モニタ端子にスペクトラムアナライザ（電界強度測定器など）を接続し、このボリュームにより所定のレベルに合わせてください。
- ※出荷時の設定は-10dBとなっています。

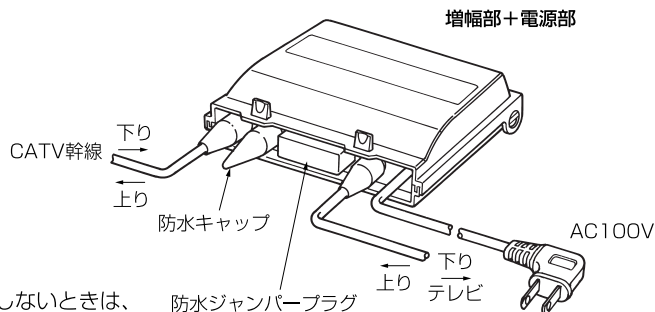


調整方法

- 1.調整する前にスペクトラムアナライザで入力レベルを測定し、過大な入力レベルとらないことを確認してください。
 - 2.スペクトラムアナライザを下り出力モニタ端子に接続してください。
 - 3.全帯域のレベルを測定し、定格出力レベルに平均的に近づくように入力EQ、入力ATTボリュームで調整してください。
- ※70~770MHz帯の出力モニタレベルは、出力レベルから20dB低い値を示しますので、測定値に20dBを加えた値が実際のレベルです。

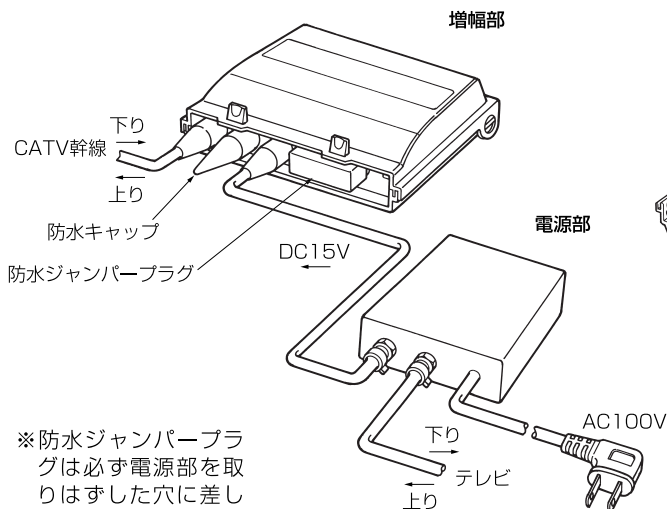
使用例

〈電源内蔵で使用する場合〉



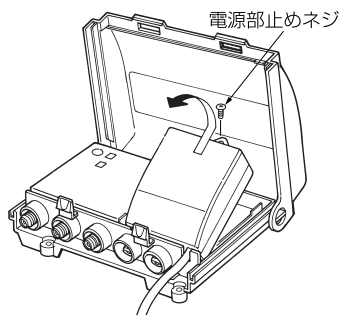
- 下り出力モニタ端子を使用しないときは、必ず先端を切り取っていない防水キャップ（付属品）を溝の奥まできっちりと差し込んでください。

〈電源分離で使用する場合〉



- ※防水ジャンパープラグは必ず電源部を取りはずした穴に差し換えてください。

電源部の取りはずし



- ①取付用ネジははずします。
 - ②電源部の奥側を持ち上げ、端子を穴から引き出す。
- 取り付けは取りはずしの逆の作業を行なってください。
 - 取りはずした電源部止めネジは壁面取り付けに使用します。

電源の供給

- 電源の供給は、必ず取付工事が終わって、すべてのケーブルが正確に接続されていることとアース端子が接地されていることを確認してから行なってください。
- この製品には電源スイッチがありません。電源コードのプラグをAC100Vコンセントに差し込むことにより、電源が供給されます。

〈電源内蔵で使用する場合〉

- 増幅部の下り出力端子・上り入力端子と電源部の下り入力端子・上り出力端子を付属の防水ジャンパープラグで接続してください。

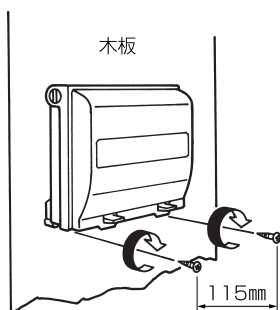
〈電源分離で使用する場合〉

- 増幅部の下り出力端子・上り入力端子と電源部の下り入力端子・上り出力端子を同軸ケーブルで接続してください。
- 電源装置は必ず内蔵の電源部を取りはずしてご使用ください。

取付方法

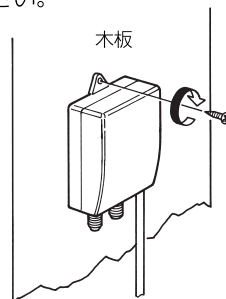
〈本体ケース〉

本体ケース内で電源部の右上に付いている木ネジ1本をあらかじめ木板に取り付け、本体を引っかけてから、図のように木ネジ2本でしっかりと木板に取り付けてください。



〈電源部分離取付け〉

本体から電源部を取りはずしたときの取付用ネジ1本で図のようにしっかりと木板に取り付けてください。



〈注意〉

電源部は必ず風雨のあたらない屋内か、収容箱内に設置してください。

使用上のご注意

- 出力モニタは出力レベルに対して20dB低い値を示しますが、正確なレベル測定を行うために出力端子は、ケーブルで他の機器と接続してください。より正確なレベル測定を行う場合は、出力端子を使用してください。
- この製品は広帯域を増幅しますのでCATV施設やヘッドエンドなどのある施設で使用してください。入力端子に直接アンテナを接続すると無線などの外来電波により画像に障害を与える場合があります。
- 内蔵の電源部は他の機器に使用しないでください。
- 屋外で使用する場合、調整後は、ブースタの蓋を両手で押え、ロックがかったことを確かめてください。
- 出力レベルが定格をこえる場合、CTBなどの原因となり良質の画像が得られなくなりますので、入力ATT、入力EQを使用し、定格出力レベルとなるように調整してください。
- ブースタ本体を引っ張り強さ0.39kN以上の金属線または直径1.6mm以上の軟銅線で接地してください。
- 下り出力モニタ端子を使用しないときは、必ず先端を切り取っていない防水キャップ（付属品）を防水キャップ溝の奥まできっちりと差し込んでください。
- スイッチを切り換える場合、切換操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化（クリーニング）をしてください。

規格特性

品 名		共同受信用広帯域ブースタ		品 番		HW-806			
＜増 幅 部＞									
使 用 周 波 数(MHz)		10～55		70～770		入出力インピーダンス(Ω)		75(F形)	
標 準 利 得(dB)		0～5		25～30		使用温度範囲(℃)		-10～+40	
定格出力レベル(dBμ)		—		95(75波)/97(57波)		電 源 / 消 費 電 力		AC100V(50/60Hz)/4.5W	
入力ATT調整範囲 (dB)		—		0～10連続可変		重畳電源/消費電流		DC15V/100mA	
入力EQ調整範囲 (dB)		—		0、-5(70MHz)		外 形 寸 法(mm)		119.5(H)×159.5(W)×53(D)	
C T B(dB)		—		-60以下		質 量(kg)		0,3	
＜電 源 部＞									
使 用 周 波 数(MHz)		5～770				挿 入 損 失(dB)		2,0以下	
入 力 電 源		AC100V 50/60Hz 5.5W				使用温度範囲(℃)		-10～+40	
出 力 電 源		DC15V/130mA				外 形 寸 法(mm)		110(H)×73(W)×35.5(D)	
入出力インピーダンス(Ω)		75				質 量(kg)		0,4	

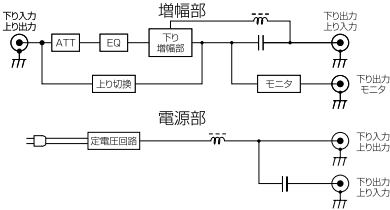
※規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

伝送波数に対する出力レベルの変化(CATV下り)、CTB値-60dB

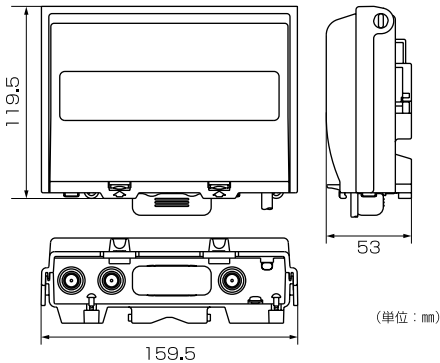
伝 送 波 数(波)	75	57	32
定格出力レベル(dBμ)	95	97	99

ただし、伝送チャンネル配列は当社標準チャンネル配列による値ですので、配列により若干値が変化します。目安として利用ください。

ブロックダイアグラム



外形寸法図



(単位: mm)

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

- | | | | |
|--------------------------------|----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 札幌支店 TEL.(011)822-1251(代) | 新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代) | 三重営業所 TEL.(059)226-1643(代) | 岡山営業所 TEL.(086)254-2948(代) |
| 東北支店 TEL.(022)243-2141(代) | 茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代) | 金沢支店 TEL.(076)261-9988(代) | 高松営業所 TEL.(087)868-1222(代) |
| 郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代) | 千葉支店 TEL.(043)253-1121(代) | 富山営業所 TEL.(076)422-7878(代) | 松山営業所 TEL.(089)925-3826(代) |
| 東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代) | 横浜支店 TEL.(045)651-2557(代) | 大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代) | 福岡支店 TEL.(092)541-0168(代) |
| 東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代) | 静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代) | 近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代) | 北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代) |
| 東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代) | 浜松営業所 TEL.(053)461-8885(代) | 堺営業所 TEL.(072)278-5311(代) | 大分営業所 TEL.(097)558-7235(代) |
| 多摩営業所 TEL.(042)770-2931(代) | 中部支店 TEL.(052)771-5106(代) | 京都営業所 TEL.(075)382-6141(代) | 熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代) |
| 埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代) | 松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代) | 神戸支店 TEL.(078)974-7100(代) | 南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代) |
| 宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代) | 岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代) | 広島支店 TEL.(082)237-5331(代) | 沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代) |

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第一ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)

(2003年3月現在)